



個人の部優勝  
本部管理中隊 清水2曹

表彰式にて顕彰板を授与される戦闘中隊の隊員

## 連隊持続走競技会

## 機甲教導連隊

連隊は、令和四年十月十五日(土)、連隊持続走

競技会を実施した。

連隊は、令和四年十月十五日(土)、連隊持続走競技会を実施した。競技官として必要な体力・気力を鍛成するとともに、士気の高揚及び団結の強化を図る目的として行われ、駒門駐屯地内周回コース三・六キロを激走した。本競技は、前走を十月十三日(木)、三個グループにて実施し、本走において六個グループの連隊所属隊員の約八割の人員をもって実施した。昨年度優勝の第四戦車中隊と戦闘中隊が終盤まで首位争いを繰り返し、激戦の中で戦闘中隊が見事に優勝を勝ち取った。



令和四年十一月五日(土)から十一月六日(日)までの間、令和四年度第二戦車中隊及び第四戦車中隊訓練検閲を東富士演習場にて実施した。第四戦車中隊の保有する一六式機動戦闘車の生地か、敏捷性ある機動力をもつて訓練検閲を実施した。受閲部隊は、作戦準備(疎開地)から機動(夜間行進から集結地占領)、戦闘行動(東富士演習場に進出した警戒部隊の駆逐)等の一連の実動訓練を実施した。また、今年九月に配属になった新配置隊員は、装填手等の任務にあたり初めての訓練検閲に参加した。第二戦車中隊及び第四戦車中隊は部隊の作戦遂行能力を高め、じ後の鍛成の資を得た。

## 機甲教導連隊

## 上級陸曹特技課程「国際活動」

## 国際活動教育隊

国際活動教育隊は、第五十三期及び第五十四期上級陸曹特技課程「国際活動」を、令和四年八月から十月までの間、それぞれ約一ヶ月にわたり実施し、入校者全員が修了した。本課程教育では実践的な総合訓練を実施し、特に、現地における小部隊指揮官としての指揮能力の向上を図った。



## 予備自衛官招集訓練

## 第一高射特科大隊

第一高射特科大隊(大隊長・矢部二佐)は、令和四年十月七日(金)から十月十一日(火)までの間、駒門駐屯地及び東富士演習場において予備自衛官招集訓練を担任実施した。

本訓練は、予備自衛官七十二名に対して、精神教育、基本教練、武器訓練、体育訓練、野外衛生及び救急法、特殊武器防護、野外勤務、職務訓練を実施し、予備自衛官として必要な資質の涵養と知識及び技能の維持を図る目的として実施し、所望の成果を得て本訓練を終了した。



高射直接支援隊は令和四年十月十五日(土)から十月二十日(木)までの間、第一師団が実施する第三次師団訓練検閲において、第一後方支援連隊として参加・受閲した。練成訓練時より、野外における整備所開設(整備所天幕の開設)を主に実施し、当検閲において練成成果を十分に発揮することができ、第一後方支援連隊の検閲の評価「概ね優良」の獲得に貢献した。本検閲での成果を隊務に反映し、第一高射特科大隊に対しても、より一層積極的に支援し、任務完遂に貢献していきたい。



## 新型コロナワクチン職域接種

## 駐屯地業務隊

令和四年十一月七日(月)から十二月十九日(月)までの間、新型コロナウイルスオミクロン株(BA.1)対応ワクチン職域接種を実施して、駐屯地隊員の感染防止及び任務遂行能力の維持を図った。同ワクチン職域接種は、医務官等五名の他、駐屯各部署の支援により六百三十名の隊員に対し接種を完了させることができた。引き続き、感染防止に努めていきたい。



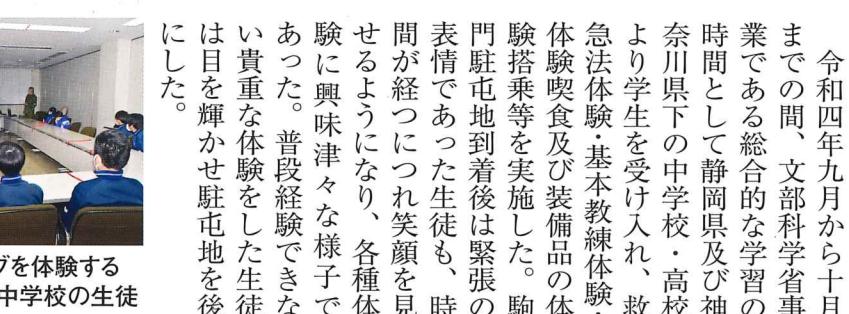
受付にて本人確認する隊員

ワクチン接種を受ける隊員

## 第二次師団訓練検閲受閲

## 駒門駐屯地

## 総合的な学習の時間

信号を体験する  
知徳高校の生徒

令和四年九月から十月までの間、文部科学省事業である総合的な学習の時間として静岡県及び奈川県下の中学校・高校より学生を受け入れ、救急法体験・基本教練体験・体験喫食及び装備品の体験搭乗等を実施した。駒門駐屯地到着後は緊張の表情であった生徒も、時間が経つにつれ笑顔を見せるようになり、各種体験に興味津々な様子であった。普段経験できない貴重な体験をした生徒は目を輝かせ駒門駐屯地を後にしました。普段経験できない貴重な体験をした生徒は目を輝かせ駒門駐屯地を後にしました。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年三月に広報陸曹として上番し、皆様のご支援のお陰様で何とか広報誌を作成しております。分かりやすく読み応えのある広報誌を目指していきますので、本年もよろしくお願い致します。



令和四年十一月五日(土)駒門駐屯地は、第二十回富士岡公園祭り開催にともない、会場設営及び撤収支援を実施した。開催当日は晴天に恵まれ、多数の来場者が訪れた会場では、各々が笑顔溢れるひとときを過ごし、富士岡公園祭りは成功裏に終了した。

Twitter 祝 1万人突破!



フォローお願いします!

## 国連三角パートナーシッププログラム

## 国際活動

機甲教導連隊  
曹長 塩澤 皇明  
(五月二十八日)

定年退官者  
三佐 松下 幸夫  
(五月二十八日)

2曹 菅澤 聰  
(五月二十八日)